

世界的ピアニスト ソナタの極致

小菅優

「ピアノ」

ソナタ・シリーズ

YU KOSUGE
PIANO RECITAL



©Takehiro Goto

2024. **10/5** 〈土〉

第3回「愛・変容」
変奏曲を含むソナタがうつつだす“変容”

PROGRAM
ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ 第30番 ホ長調
Beethoven: Piano Sonata No.30 in E flat major, op.109
矢代秋雄: ピアノ・ソナタ
Akio Yashiro: Piano Sonata
シューマン: ピアノ・ソナタ 第3番 ヘ短調
Schumann: Piano Sonata No.3 in F minor, op.14

2025. **3/23** 〈日〉

第4回「神秘・魅惑」
聖も悪も。ソナタのなかに昇華する

PROGRAM
スクリャービン: ピアノ・ソナタ 第9番「黒ミサ」 変ホ短調
Scriabin: Piano Sonata No. 9 in E flat minor, op.68, "Messe noire"
藤倉大: ピアノ・ソナタ (委嘱日本初演)
Dai Fujikura: Piano Sonata (commissioned new piece)
ベルク: ピアノ・ソナタ
Berg: Piano Sonata, op.1
リスト: ピアノ・ソナタ ロ短調
Liszt: Piano Sonata in B minor, S.178

各公演
共通

2:00PM開演 (1:30PM開場)
A ¥4,000 B ¥3,000 (税込/全席指定)

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札ロスグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

一般発売

6/23

日

芸術文化センター
チケットオフィス

☎0798-68-0255

(10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

インターネット予約

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

※窓口での販売(残席がある場合)は6/25(火)より

芸術文化センター会員
先行予約受付開始

6/22 土

※未就学児はご入場いただけません。
※やむを得ない事情により、曲目等が変更となる場合があります。
あらかじめご了承ください。



兵庫県立
芸術文化センター



主催: 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

大人気シリーズ、待望の第3回&第4回 ソナタのさらなる深奥へ

世界的に活躍するピアニスト小菅優が、「ソナタというテーマに基づき、様々な時代を歩む作曲家の幅広い世界に挑戦」するシリーズ。第1回、第2回とも満席の聴衆を圧倒する演奏を聴かせた小菅が、次なるテーマで多彩なソナタをとりあげます。

第3回では、「愛・変容」をテーマに“変奏”を用いたソナタを演奏。ベートーヴェンの第30番は、“不滅の恋人”との説もあるアントニエ・ブレンターノ夫人の娘に献呈されたロマンティックなソナタ。そしてこの曲に「精神的な影響を受けた」と語る矢代秋雄のソナタが続きます。後半のシューマン第3番は、後の妻クララとの多難な恋愛時代に書かれた楽曲。第3楽章はクララの書いた旋律に基づく変奏曲となっており、作曲家の熱い想いが込められています。

第4回は「神秘・魅惑」。ともに単一楽章によるソナタ4曲です。神秘的なものへと傾倒し、“神秘和音”を用いるなど独自の音楽を追求したスクリャービンのソナタは恍惚の境地。そこに続く藤倉大の新作がどのような世界観を見せるのか、期待が高まります。ベルクは作品番号1がついているように、若き日のロマンティズムが詰め込まれた楽曲です。そしてクライマックスはリストの大曲「口短調ソナタ」。どこまでも神々しく悪魔的でもある音楽は、この世のものとは思えないスケールの大きなソナタです。

選り抜かれた、いまここでしか聴けない充実のプログラム。シリーズを通して拓く新しい世界へ、ぜひ一緒に。



©Takehiro Goto

小菅 優 (ピアノ)

YU KOSUGE, PIANO

9歳より演奏活動を開始し、2005年カーネギーホールで、翌06年には、ザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタル・デビュー。ドミトリエフ、デュトワ、小澤、ノリントン、オラモ、ノットなどの指揮でベルリン響、フランクフルト放送響、シュトゥットガルト放送響、BBC響、NDRエルプフィル、サントペテルブルク響、フィンランド放送響、フランス放送響、スイス・ロマンド管等と共演。ザルツブルク音楽祭ではボゴレリッチの代役としてヘレヴェッヘ指揮カメラータ・ザルツブルクと共演。10年から15年まで、東京、大阪でベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏会（全8回）を行った。さらに現在はソロだけでなく室内楽や歌曲伴奏を含む、ベートーヴェンのすべてのピアノ付き作品を徐々に取り上げる企画「ベートーヴェン詣」に取り組んでいる。

録音は、ソニーから発売しているライアン・ウィグルスワース指揮 BBC交響楽団による『藤倉大：ピアノ協奏曲（インパルス）&WHIM /ラヴェル：ピアノ協奏曲ト長調』（第77回文化庁芸術祭優秀賞受賞）をはじめ数多い。

第13回新日鉄音楽賞、第17回出光音楽賞などを受賞。14年に第64回芸術選奨音楽部門 文部科学大臣新人賞、17年第48回サントリー音楽賞受賞。17年から4年にわたり、4つの元素「水・火・風・大地」をテーマにしたリサイタル・シリーズ『Four Elements』を開催し好評を博した。23年よりピアノ・ソナタに焦点をあてた新プロジェクト“ソナタ・シリーズ”を始動。

ソナタ・シリーズについて

小菅 優

第3回「愛・変容」

人は経験によって変わっていく・・・基盤となる一つのテーマからときには悲しく、ときには激しく、ときには戯れるような様々な表情に音楽がどんどん変化して行く様子はまるで私たち生き物のようだ。たくさんの姿が変わっても、真の姿は変わらず、当初の自分に戻ってくることもある。そして死後の世界があるとしたら、人間は、魂は、どのような姿に変容するのか。

第4回「神秘・魅惑」

形式がもっと自由になることによって、発想も自由になってくる。一つの出来事に集中しても、その多彩さによって広大さは失われず、長い詩のような世界がそこにはある。人間は白と黒で説明できるような生き物ではない。善は悪と共存し、人間は悪魔の誘惑に負けることもある。官能、神秘、エクスタシーの魅惑へと音楽が誘う。



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら



便利なアクセス!!

大阪・梅田からも神戸・三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

